

2024.09.28

レイラ・ピニエイロとヒカルド・バセラルー ブラジル音楽の巨星ジョアン・ドナートに捧げるアルバムをリリース

[JASMIN MUSIC]



ジョアン・ドナートが亡くなる前に遺した未発表曲も収録9月27日配信スタート

[動画1: https://www.youtube.com/watch?v=3aN3Y0Vf_A]

[画像1: https://prcdn.freets.fastly.net/release_image/127766/5/127766-5-7498e97ec996ea749939760ea9547f76-3840x2160.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff]レイラ・ピニエイロ、ヒカルド・バセラルー

歌手のレイラ・ピニエイロ(Leila Pinheiro)とマルチプレイヤーのヒカルド・バセラルー(Ricardo Bacelar)がタッグを組んで制作したアルバム「ドナート」(Donato)の配信が今月27日(金曜日)にスタートする。同アルバムには、ブラジルの作曲家・ミュージシャン・アレンジャーで、生きていれば今年の8月17日で90歳の誕生日を迎えるはずだったジョアン・ドナートの楽曲が新たな解釈で収録されている。

ドナートの楽曲に没頭する作業にレイラを誘ったのはヒカルド・バセラルーの方だった。アルバム全編でピアノの音響を担当したバセラルーは、「ドナートの作品に新たな視点をもたらすようなアルバムを作りたい」というのが正直な印象だった。ドナート作品はそれまでに何曲もレコーディングしており、ステージでの共演も多く、ドナートは1983年リリースの私のファーストアルバムに参加、私も彼のDVD「ドナトゥラル(Donatura)」に参加するなど、私にとって偉大な存在であるドナートに捧げるアルバムをこの時期に作るという選択は自分にはなかった」とレイラは話す。「ヒカルドからオファーを受けた時には、ドナートの生誕90年に合わせた発表のタイミングが絶妙に思え、また自分にとっては大きな挑戦になると感じた」。これまでに素晴らしいレコーディングやアレンジがされている曲に新たなアプローチを採ることは、ある意味では曲家のオリジナルのコンセプトを解体するような作業で、「ヒカルドのことを、そして彼が提案するものや、我々二人の出会いから生まれてくるものを全面的に信頼して、体当たりで取り組むことにした」という。

[動画2: <https://www.youtube.com/watch?v=UxLdJ4Scvp0>]

[画像2: https://prcdn.freets.fastly.net/release_image/127766/5/127766-5-15c863bd97056adb4c0a4919dee56277-1161x898.jpg?width=536&quality=85%2C75&format=jpeg&auto=webp&fit=bounds&bg-color=fff]レイラ・ピニエイロ、ヒカルド・バセラルー

「ヒカルドのスタジオはこれまで私がレコーディングに使ったことのあるスタジオの中でも屈指の素晴らしい施設で、ジャズミン・レコードというレーベルの存在も知っていたが、随分変わったオファーだなというのが正直な印象だった。ドナート作品はそれまでに何曲もレコーディングしており、ステージでの共演も多く、ドナートは1983年リリースの私のファーストアルバムに参加、私も彼のDVD「ドナトゥラル(Donatura)」に参加するなど、私にとって偉大な存在であるドナートに捧げるアルバムをこの時期に作るという選択は自分にはなかった」とレイラは話す。「ヒカルドからオファーを受けた時には、ドナートの生誕90年に合わせた発表のタイミングが絶妙に思え、また自分にとっては大きな挑戦になると感じた」。これまでに素晴らしいレコーディングやアレンジがされている曲に新たなアプローチを採ることは、ある意味では曲家のオリジナルのコンセプトを解体するような作業で、「ヒカルドのことを、そして彼が提案するものや、我々二人の出会いから生まれてくるものを全面的に信頼して、体当たりで取り組むことにした」という。

ピアノとヴォーカルによるアルバムのレコーディングに、ジャキス・モレレンバウムが加わって新たな輪郭が生まれた。モレレンバウムについては、「彼とは以前アルバム『アンダール・コン・ジル (Andar com Gil)』のレコーディングで共演したこともあって参加を依頼した。今回のアルバムへのジャキスの貢献は大きく、曲のアレンジは我々三人が協力して作り上げたと言っても過言ではない」という。レイラも「我々はトリオとして一緒にジョアン・ドナートと共作者たちの作品を深く読み込んだ」と語っている。

アルバムに収録されたドナートの作品12曲は、カエターノ・ヴェローゾ、ジルベルト・ジル、ホナウド・バストス、アベル・シルヴァ、シコ・ブアルケ、マルロン・セッチ、シルヴィオ・フラガ、リジマス・エニオとの共作。この中で唯一の未発表曲である「コンタス・ジ・ヴィードロ (Contas de Vidro)」は、作曲家ドナートの生前にイヴォーネ・ベレンを通じてレイラ・ピニエイロの手に渡った。「この曲はドナートとジョアン・シルベルト、リジマス・エニオとの共作で、これまでインストゥルメンタルバージョンしか録音されていなかった。ドナートがイヴォーネとの電話中に『これを送ったら、レイラは大喜びするな』と言っている声が聞こえたが、まさにその通りになった。この曲と『ヴェルボス・ド・アマール(Verbos do Amor)』では私がピアノを演奏した」とレイラは話す。ヒカルド・バセラルーは、この曲と名曲「ナトゥラルメンチ(Naturalmente)」でレイラとヴォーカルを共にしている。

予定されていたドナートの特別参加も実現しなかった。「リオに行っても一曲ドナートにも参加してもらった計画だったが、残念なことにレコーディングの前に亡くなってしまった」という。

ジャキス・モレレンバウムは、「ア・ハン(A Rã)」、「アサフラオン(Açafrão)」、「ナケラ・エスタサオン(Naquele Estação)」、「ナトゥラルメンチ(Naturalmente)」、「コンタス・ジ・ヴィードロ (Contas de Vidro)」、「ジャキ・ヴォセ・デウ・モチーヴォ(Já Que Voce Deu Motivo)」、「ヌア・イデア(Nua Ideia)」、「フロール・マラクジャ(Flor de Maracuja)」、「ブリーザ・ド・マルヘスルプレザ(Brisa do Mar / Surpresa)」の9曲でチェロを披露している。

今回のアルバムの前にも、レイラとバセラルーはジャズミン・ミュージックからリリースされた2作品で共演している。2023年には、レイラはボサノヴァ界の重鎮ロベルト・メネスカルの誘いを受け、メネスカル本人とヒカルド・バセラルー、イオゴ・モンゾの合作アルバム「ノス・イ・オ・マール (Nos e o Mar)」に収録された「バイ・バイ・ブラジル (Bye Bye Brasil)」(作詞・作曲ロベルトメネスカル、シコ・ブアルケ)のレコーディングに参加した。さらに同年の年末には、二人で「セメンチ・ジ・マレ (Semente da Mare)」(作詞作曲ギリエルメ・アランチス)をシングルとしてリリースしている。

アルバム「ドナート」のサウンドは、レイラ・ピニエイロとヒカルド・バセラルーが入念にこの作品を作り上げたことを反映している。「ドナート作品の扱われ方については、最新の注意を払った。彼の楽曲のような偉大な作品に新たな解釈を加えようとする場合、大きな敬意や厳密さが求められる」。レイラの考えでは、このアルバムには若い世代のピアニストや歌手、アレンジャーにドナート作品を紹介するという役割もある。「聴いた人が驚くような独自の視点を与えることができるのはとても興味深い経験だった。このアルバムは言うなれば誰も見たことのないジョアン・ドナートの肖像写真とも言える」。

プロフィール

ジョアン・ドナート (ジョアン・ドナート・ジ・オリヴェイラ・ネト) はアクレ州生まれの作曲家、ミュージシャン、ピアニスト、アコーディオン奏者、歌手で、2023年7月17日に他界。ボサノヴァ・ムーブメントに参加し、米国ではラテンジャズを広めた。2023年にはアルバム「セロトニン(Serotonina)」でラテングラミー賞を受賞するなど、世界に向けたブラジル音楽の発信に多大な貢献をした。

ヒカルド・バセラルーはピアニスト、作曲家、音楽プロデューサーで、自身のレーベルであるジャズミンミュージックを立ち上げ、現在ブラジル国内で最も重要なレコーディングスタジオのオーナーでもある。リオデジャネイロの人気グループ、ハノイ・ハノイのメンバーとして長年活躍。ソロアーティストとしては、ベルキエロ、イヴァン・リンス、ジルベルト・ジル、ファグネル、ロベルト・メネスカル、フラヴィオ・ヴェントゥリーニ、エチナルド、アメリカニヤといった大物ミュージシャンたちとレコーディングしている。また米国のジャズ専門ラジオ局で最も頻りにオンエアされたアーティストの一人に入ったことが2度ある。ヨーロッパや日本でもツアーを行っており、2024年には東京ブルーノート・プレイス公演を含む8公演の日本ツアーを開催した。

MPBやサンバ、ボサノヴァの歌手であり、ピアニスト、作曲家としても活躍するレイラ・ピニエイロは、44年のキャリアを持つ。ロベルト・メネスカルがプロデュースしたアルバム「Benção Bossa Nova (ベンサン・ボサノヴァ)」の収録のヒットでボサノヴァアーティストとしての名声を確立。これまでに多くの賞を獲得しており、来日公演も行っている。アントニオ・カルロス・ジョビン(Tom Jobim)、ジョアン・ドナート、イヴァン・リンス(Ivan Lins)らブラジル音楽を代表するアーティストとも共演。代表曲はジョビン作曲の「Espelho das Águas (エスペーリョ・ダス・アグアス)」、フラヴィオ・ヴェントゥリーニ(Flavio Venturini)とミロ・アントゥニス(Murilo Antunes)作曲の「Besame (ベサメ)」など。ピアノは10歳から演奏している。

ドナート - レイラ・ピニエイロ&ヒカルド・バセラルー feat. ジャキス・モレレンバウム

収録曲
A Rã (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル
ヒカルド・バセラルー - ピアノ
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

2. Lugar Comum (ジョアン・ドナート/ジルベルト・ジル)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル
ヒカルド・バセラルー - ピアノ

3. Açafrão (ジョアン・ドナート/マルロン・セッチ/シルヴィオ・フラガ)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル
ヒカルド・バセラルー - ピアノ
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

4. Naquela Estação (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ/ホナウド・バストス)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル
ヒカルド・バセラルー - ピアノ
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

5. Brisa do Mar - Surpresa (ジョアン・ドナート/アベル・シルヴァ, ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル
ヒカルド・バセラルー - ピアノ
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

6. Verbos do Amor (ジョアン・ドナート/アベル・シルヴァ)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル、ピアノ
ヒカルド・バセラルー - ピアノ

7. Naturalmente (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル

ヒカルド・バセラルー - ピアノ、ヴォーカル
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

8. Cade Voce (ジョアン・ドナート/シコ・ブアルケ)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル
ヒカルド・バセラルー - ピアノ

9. Contas de Vidro (ジョアン・ドナート/ジョアン・ジルベルト/リジマス・エニオ)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル、ピアノ
ヒカルド・バセラルー - ヴォーカル
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

10. Já Que Voce Deu Motivo (ジョアン・ドナート/ホナウド・バストス)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル
ヒカルド・バセラルー - ピアノ
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

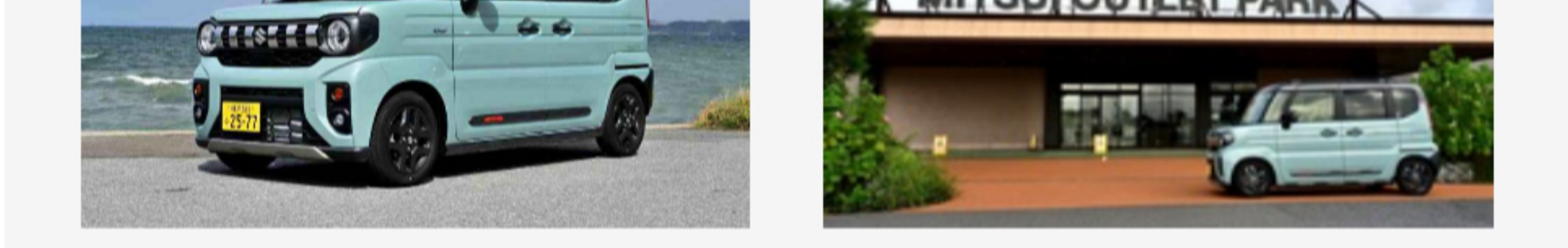
11. Nua Ideia (ジョアン・ドナート/カエターノ・ヴェローゾ)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル
ヒカルド・バセラルー - ピアノ
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

12. Flor de Maracuja (ジョアン・ドナート/リジマス・エニオ)
レイラ・ピニエイロ - ヴォーカル
ヒカルド・バセラルー - ピアノ
ジャキス・モレレンバウム - チェロ

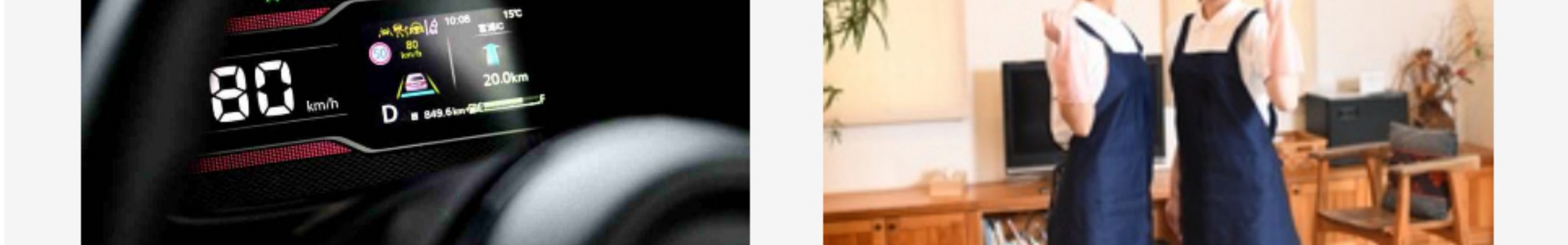
カバー：MZK
ジャズミン・スタジオにて録音
レコーディング：メウク
ミキシング：ペト・ネーヴェス (マンドゥーリ・スタジオ)
マスタリング：カルロス・フレITAS
プロデュース：ドナート・レイラ・ピニエイロ&ヒカルド・バセラルーPR TIMESプレスリレー詳細へ
PR TIMESプレスリレー詳細へ

データ提供: [PR TIMES](#)

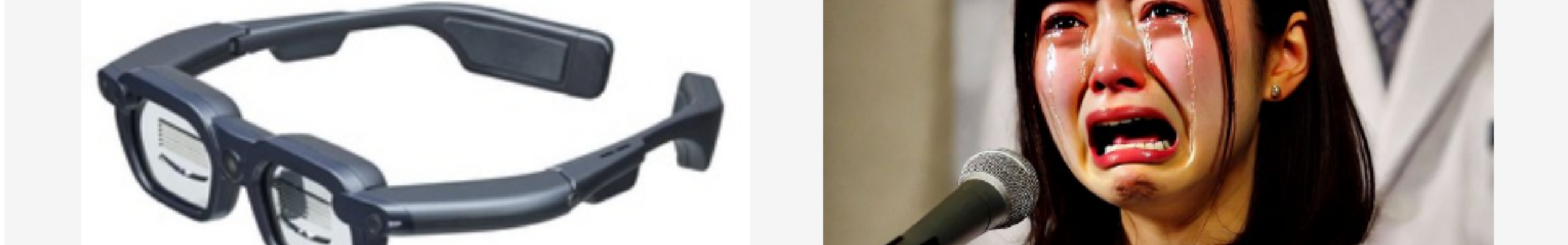
あなたにおすすめの記事



【AD】新型「スぺーシア ギア」で行く雨期絶好の愛犬同仲型キャンプハウスの旅・前編PR
 新型「スぺーシア ギア」でかみ家カフェとアウトドアショッピングショートトリップ【PR】



【AD】新型「スぺーシア ギア」でかみ家カフェとアウトドアショッピングショートトリップPR
 バートも収入アップ！第3の扉上げから正社員並み待遇まで策計にうれしい企業の取り組み事例



人気記事ランキング

- Excelは行の高さを自動調整できるって知ってた？覚えておきたい7つの設定方法
- 『ボイ活、賢者・井上ポイントさんが鋭く楽天モバイル&楽天経済圏で節約&...
- 『人間の心と、AIの頭でつくる。AIコピーライターが生み出す新しい広告の世界』
- お風呂のクチコミ評価が高い温泉宿ランキング。3位月岡温泉「摩周」、2位伊香...
- 車内清掃からアウトドアまで！冬のカーライフに重宝するセيوفのハンディマル...

Recommended by poplin

DIME 最新号

2024年10月16日(水) 発売

DIME最新号は「感性を磨くホテル50」。

オフィスで映える有格スニーカー100

人気のタグ

- #立原尚子
- #自動車業界ニュース
- #一般常識
- #データ
- #iPhone
- #ヘルスデーニュース
- #石原亜香利
- #Google
- #家電
- #スマホ

すべてのタグを見る >

おすすめのサイト

BEPAL
アウトドア情報サイト

小学館百貨店
小学館公式通販

Second Stage
「これからの私」の居場所探し

DIME WELLBEING
心の時代の生き方、働き方

美的HEN
美的HEN

PETomorrow
ペット情報サイト

サライ
シニア世代の「人生」と「暮らし」を究める

REAL KITCHEN & INTERIOR
おしゃれなブランドの最新キッチン情報